事業番号　0405

# 平成２３年度行政事業レビューシート　（ 防 衛 省 ）

| 事業名 | コックピット評価装置のうちの設計評価支援装置 | 担当部局庁 | 経理装備局 | 作成責任者 |
|---|---|---|---|---|
| 事業開始・終了(予定) 年度 | ２１年度　～　２２年度 | 担当課室 | 技術計画官 | 技術計画官<br>飯野　稔 |
| 会計区分 | 一般会計 | 施策名 | 防衛装備品の研究・開発の推進 | |
| 根拠法令<br>(具体的な条項も記載) | － | 関係する計画、通知等 | － | |

**事業の目的**
(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)

コックピット評価装置は、航空機の研究開発において、コックピットシステムの有効性の定量評価等を行うため、コックピット計器の形状、配置等を自由に変更できる試験用シミュレータ装置である。
今後の航空機の研究開発に本装置を継続して使用可能なよう、老朽化した構成品の更新を行う。

**事業概要**
(5行程度以内。別添可)

コックピット評価装置の構成品である設計評価支援装置は、航空機の運動計算、計器の表示、シミュレーションの統括制御等を行うコックピット評価装置の中核部分であるが、10年以上前に製造され、将来の戦闘機の複雑化するアビオニクスの模擬等を行う場合、処理能力等の観点で十分でなく、また、部品枯渇等により今後メンテナンスが行えない可能性がある。
このため、今後の航空機の研究開発にコックピット評価装置を継続して使用可能なよう、当該部品の更新を行う。

**実施方法**　☐直接実施　☑業務委託等　☐補助　☐貸付　☐その他

**予算額・執行額**
(単位:百万円)

| | | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度要求 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 予算の状況 | 当初予算 | | 0 | 205 | | |
| | 補正予算 | | 0 | 0 | | |
| | 繰越し等 | | 0 | 0 | | |
| | 計 | | 0 | 205 | | |
| 執行額 | | | 0 | 171 | | |
| 執行率（%） | | | | 83.4% | | |

**成果目標及び成果実績(アウトカム)**

| 成果指標 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 目標値（　年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標:国が考える仕様(スペック)を満たす機械器具の納入であること。<br>実績:平成23年4月から実施している将来アビオニクスシステムの性能確認試験で使用している。 | 成果実績 | 式 | | | 1 | |
| | 達成度 | % | | | 100 | |

**活動指標及び活動実績(アウトプット)**

| 活動指標 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度活動見込 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 川崎重工業(株)と(21.12.8)に契約を締結し、承認用図面、設計報告書及び取扱説明書を確認し、平成22年12月24日に納入が完了した。 | 活動実績<br>(当初見込み) | % | | | 100<br>(100) | —<br>(　　) |

**単位当たりコスト**　171, 150, 000(円／式)　　算出根拠　当該事業に要した機械器具の金額を計上した。

**平成23・24年度予算内訳**

| 費　目 | 23年度当初予算 | 24年度要求 | 主な増減理由 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 計 | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|---|---|---|---|
| | 評 価 | 項　　目 | 特記事項 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。 | |
| | ○ | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、費目・使途 | ○ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | |
| | ○ | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | － | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | － | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | |
| | ○ | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | － | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 | |
| | ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | 【1. 必要性】<br>本装置は、コックピット計器の形状、配置、表示方式、表示内容、操縦操作要領を自由に変更できる機能を備え、将来型コックピットシステムの有効性の定量評価等が行える装置である。コックピット評価装置のうち設計評価支援装置は航空機の運動計算、計器の表示、シミュレーションの統括制御等を行うコックピット評価装置の中核となる部分である。現有品は10年以上前に製造・取得されており、将来の航空機の複雑化するアビオニクスの模擬やネットワーク戦闘に対応した多数機の模擬を行う場合、処理能力等の観点で不十分である。また、主要構成要素部分の交換部品が枯渇しており、仮に故障した場合には、速やかな復旧が困難となる恐れがあることからも本装置の更新は必要不可欠である。<br>【2. 効率性】<br>民生品・汎用品を活用することにより経費削減につなげるとの視点から本事業を点検したところ、民生品の活用が可能な設計評価支援装置（その3）の計算機、ディスプレイ等については、すべて民生品を活用していた。<br>また、制御プログラムの設計・製造について、コックピット評価装置の研究試作及びコックピット評価装置（その2）の研究試作の技術的成果を適切に利活用していた。<br>以上の点検結果を踏まえると、本事業においては民生品の活用や技術的成果の利活用による経費の削減は適切になされていたところである。<br>【3. 有効性】<br>①恒常的に使用可能な研究開発評価用ツールであり、ニーズに対し柔軟な対応が可能。<br>②将来の航空機の複雑化するアビオニクスの模擬やネットワーク戦闘に対応した多数機の模擬を行う試験評価環境の確保が可能。<br>③稼働時の信頼性向上が期待できることから、修理費や修理期間を局限でき、かつ、長期的ランニングコスト面でも効率的となる。<br>【4. 総合評価】<br>本装置は、将来の航空機の複雑化するアビオニクスの模擬やネットワーク戦闘に対応した多数機の模擬を行い、マン・マシン・インタフェースの評価を実施する上では必要不可欠である。また、故障修理による研究開発業務の遅延を局限するうえでも本装置の更新が必要不可欠である。 | | |

| | |
|---|---|
| 一部改善 | 引き続き契約実績の分析、他のコスト低減方策の検討等を行い、効率的な予算要求、予算執行に努める。 |

**上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）**

必要に応じ、契約実績の分析及び試作内容等の精査結果を今後の事業に反映する。

**補記 （過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）**

**資金の流れ**
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

※平成22年度実績を記入

**防衛省**

**171百万円**

仕様書の作成や検査等の事業管理を実施した。

※競争に付しても入札者がないとき、又は再度の入札をしても落札者がない場合の随意契約

【一般競争入札→随意契約】

**A. 川崎重工業（株）**

**171百万円**

次に示す内容の製品製造を実施し、納入した。

【構成品内訳】
① 設計評価支援装置
② ソフトウェア
③ 設置調整等

**費目・使途**
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A. 川崎重工業（株）

| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
|---|---|---|
| 研究用機械器具費 | コックピット評価装置のうちの設計評価支援装置 | 171 |
| | （費目内訳） | |
| | 直接材料費 | |
| | 加工費 | |
| | 直接経費 | |
| | 一般管理費 | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 171 |

E.

| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 0 |

B.

| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 0 |

F.

| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 0 |

C.

| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 0 |

G.

| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 0 |

D.

| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 0 |

H.

| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 0 |

**支出先上位10者リスト**

A.

| | 支 出 先 | 業 務 概 要 | 支 出 額<br>（百万円） | 入札者数 | 落札率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 川崎重工業(株) | 仕様書に基づいた内容の製品製造を実施し、納入した。 | 171 | 随意契約 | 100.0 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |